

アレロック[®]顆粒0.5%

服用されている皆様とご家族の方へ

監修：獨協医科大学 皮膚科学 主任教授 井川 健 先生



KYOWA KIRIN

このくすりの名前・有効成分など

製品名	アレロック®顆粒0.5%
一般名 (有効成分)	日局オロパタジン塩酸塩
有効成分含量	1g中に日局オロパタジン塩酸塩5mg含有
外観	淡黄赤色の顆粒
識別記号	KH024 (分包シートに表示)

(この製品ににおいはありません)

このくすりの作用

1

「アレロック®顆粒」は、アレルギー反応を抑えることによって、皮膚や鼻などのアレルギー症状（皮膚のかゆみ、くしゃみ、鼻みず、鼻づまりなど）を取り除いたりもしくは和らげるくすりです。（アレルギーの原因を取り除くものではありません。）

アレルギーの原因となる物質が体内に入る。



花粉、ダニ、ほこり、食物など様々な物質がアレルギーの原因となります。

免疫反応により、体内でアレルギー反応を進行させるヒスタミンなどの物質が作られる。

免疫担当細胞
ヒスタミン



アレロック®顆粒は、ヒスタミンなどの物質の産生・放出を抑えます。

皮膚、鼻などにヒスタミンなどの物質が作用してアレルギー反応を引き起こす。

鼻炎
かゆみ
発疹



アレロック®顆粒は、ヒスタミンなどの物質の働きを妨げます。

このくすりはこんな症状に使います

このような病名で使用され、次のような症状を取り除いたり、和らげたりします。

病名	症状
アレルギー性鼻炎	くしゃみ、鼻みず、鼻づまり
じんま疹	突然、かゆみを伴う発疹が出る
しっしん ひふえん 湿疹・皮膚炎	強いかゆみを伴う発疹
ようしん †痒疹	かゆみを伴う赤みをおびた ふくらみができる
ひふ そうようしやう 皮膚癢痒症	強いかゆみ、発疹はない
じんじやうせいかんせん †尋常性乾癬*	発疹、かゆみ
たけいしんしゅつせいこうはん †多形滲出性紅斑**	かゆみを伴う発疹



†成人のみ

***尋常性乾癬** (じんじやうせいかんせん)

頭部、ひじ、膝頭に発疹ができ、全身に広がることもあります。かゆみを伴うことがあります。原因は、皮膚の角化や免疫異常などが考えられていますが、よくわかっていません。治るまでに長くなるので、主治医の指示に従って根気よく治療を続けることが大切です。

****多形滲出性紅斑** (たけいしんしゅつせいこうはん)

かゆみを伴った紅斑が手足に左右対称にあらわれ、ときに発熱を伴うこともあります。ウイルス、細菌等といった病原微生物の感染、くすりや食物の摂取などが原因となって起こるアレルギー反応と考えられます。

主治医に伝えておきましょう

3

次の方は、このくすりを飲む前に必ず主治医にそのことを伝えてください。

- このくすりまたは他のくすりを飲んで発疹などが出たことがある方（飲んではいけない場合があります）
- 腎臓の悪い方
- 肝臓の悪い方
- 妊婦または妊娠している可能性のある方
- 授乳中の方
- 他のくすりを飲んでいる方（薬局で買ったくすりも含みます）



1日2回、朝と寝る前に

適量の水またはぬるま湯と
一緒に飲んでください。

- 飲む量を勝手に増やしたり、2回分を1度に飲んではいけません。
- 主治医の指示なしにくすりを中止しないでください。
特に花粉症などでは、花粉の飛ぶ季節が終わるまで毎日服用を続けることが大切です。
- 患者さんの状態によっては、主治医の指示により飲む量や回数が変わることがあります。他の服用方法を指示されている場合には、その指示どおりに服用してください。
特にお年寄りや腎臓の悪い方では、くすりのはたらきが強く出る場合がありますので、飲む量を減らすこともあります。

● 飲み忘れたとき

朝の分を飲み忘れた場合、お昼くらいまでに気がついたときは、朝の分を飲んでください。それ以降に気づいた場合は、朝の分は飲まずに、寝る前に1回分だけ飲んでください。

— 2回分を一度に飲むことはしないでください —

● 間違っ2、3回分を一度に飲んでしまったとき

眠気などが強く出ることがあります。特別変わったことが感じられなければ特に心配はありませんが、主治医または薬剤師に相談してください。

● 症状がなくなったとき

症状がなくなっても、主治医または薬剤師の指示があるまで飲み続けてください。

● 他のくすりと一緒に飲みたいとき

他のくすりと一緒に飲むときは必ず主治医または薬剤師に相談してください。

6

このくすりを飲んでいる間は、 こんなことに注意しましょう

- このくすりを飲むと、眠気やだるい感じがあらわれることがあります。自動車の運転や危険な機械の操作はしないようにしてください。
- お酒を飲むと眠気やだるい感じがあらわれる可能性があります。このくすりを飲んでいるときは、お酒をなるべくひかえるようにしてください。
- 妊娠していると気づいたときは主治医に連絡してください。

くすりを飲むと、目的の効果以外に、望ましくない作用が出ることがあります。このくすりを飲んでいる間に何かいつもと違うと感じたら、できるだけ早めに主治医または薬剤師に相談してください。

- くすりの飲み始めには、眠気があらわれることがあります。普通2、3日でなくなります。我慢ができませんようでしたら、主治医に相談してください。
- 次の症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、主治医もしくは薬剤師に相談してください。
眠気、だるい感じが続く、のどの渇き、胃がむかむかする、発疹、むくみ、かゆみ、息苦しさ
- まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。
全身がだるく食欲がない、吐き気がする、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝機能障害、黄疸]

8

日常生活上の注意

アレルギー症状を抑えるには、日常生活にも気を配ることが大切です。

●アレルギーの原因になるものをできるだけ取り除く

ハウスダスト、ダニ、カビなど	掃除を頻繁にする。
花粉症	外出時にマスクや眼鏡をかける。
食物アレルギー	アレルギーの原因となる材料が含まれていないか注意する。

●くすりを指示どおりにきちんと飲む

旅行に行くときなどは、必要な量を持っていくようにしましょう。

医療機関名

主治医名

薬剤師名